

「北陸地域ICTイノベーションセミナー2025」を開催

セミナープログラム

・主催者挨拶

総務省北陸総合通信局 局長 片山 寅真
北陸情報通信協議会
イノベーション部会 部会長 丹 康雄

・講演 電気通信事業法に基づく端末機器の基準 認証制度について

総務省 総合通信基盤局
電気通信事業部 電気通信技術システム課
端末認証分析官 沼田 文彦

・講演 技適制度の現状及び今後の展開

同 電波部 電波環境課
認証推進室 課長補佐 太田 伸一

・施策紹介 国立研究開発法人情報通信研究機構 (NICT)の取組みについて

NICTオープンイノベーション推進本部
ソーシャルイノベーションユニット
戦略的プログラムオフィス
マネージャー 山本 邦彦

・施策紹介 ICT領域における環境変化 ～リスクマネー供給の重要性～

株式会社海外通信・放送・郵便事業支援機構
投資戦略部 シニアフェロー 園田 岩雄

・FORWARDの取組状況報告【令和7年度採択案件】 持続可能な河川環境保全のための連合学習を活用 した周波数共同利用技術に関する研究開発

国立大学法人福井大学 教授 橘 拓至

総務省北陸総合通信局（局長 片山 寅真）は、北陸情報通信協議会（会長 金井 豊 北陸経済連合会会長）、ICT研究開発機能連携推進会議（会長 細野 昭雄 株式会社アイ・オー・データ機器代表取締役会長兼社長）との共催により、令和7年12月16日にKKRホテル金沢及びオンラインにて「北陸地域ICTイノベーションセミナー2025」を開催しました。オンラインを含め60名の参加があり、北陸地域のICTの利活用の更なる促進に向け理解を深めました。（セミナーのプログラムは左に記載）

主催者挨拶のあと、最初に、総務省電気通信技術システム課の沼田氏から、電気通信事業法に基づく端末機器の基準認証制度について、IoT機器のセキュリティ対策に係る基準の見直し等のトピックスの紹介がありました。続いて、同省電波環境課の太田氏から、「ソフトウェア無線」の普及や無線設備の小型化等に応じた技適マークの表示や管理の在り方に関して、電波法に基づく制度の現状と今後の展開について説明がありました。

その後、（国研）情報通信研究機構（NICT）の山本氏から、ICT分野を専門とする我が国唯一の公的研究機関であるNICTの取組について、（株）海外通信・放送・郵便事業支援機構（JICT）の園田氏から、日本企業の海外展開を支援するICT専門ファンドであるJICTの取組や支援事例について紹介がありました。

最後に、令和7年度のFORWARD（持続可能な電波有効利用のための基盤技術研究開発事業）の取組状況報告として、福井大学の橘教授から、採択案件の研究概要とこれまでの成果発表がありました。持続可能な河川環境保全を実現するデジタルインフラの研究開発を目的とし、AIとローカル5Gを活用した周波数共同利用による連合学習や学習スケジューリング技術について説明がありました。



主催者挨拶
片山北陸総合通信局長



主催者挨拶
丹イノベーション部会長



総務省電気通信技術
システム課 沼田氏



総務省電波環境課
太田氏



N I C T 山本氏



J I C T 園田氏



福井大学 橘教授



FORWARD研究課題のポスター展示



オンラインとの併催により開催したセミナーの様様

お問合せ先
情報通信部電気通信事業課
電話076-233-4421